

令和5年度 奨学後援会新年度役員会資料

学校の概況(令和4年度)

令和5年5月19日

広島商船高等専門学校

目 次

ご挨拶（校長 河口 信義）	1
学生教育（教務主事 大山 博史）	2
学生支援（学生主事 大和田 寛）	3
学寮生活（寮務主事 内山 憲子）	4
広報活動（広報主事 平井 剛和）	5
進路指導—商船学科—（商船学科 就職担当 河村 義顕, 茶園 敏文）	6
進路指導—電子制御工学科—（電子制御工学科 就職担当 成清 勝博）	7
進路指導—流通情報工学科—（流通情報工学科 進路指導担当 加藤 博明）	8

ご挨拶

校長 河口 信義

奨学後援会会員の皆様におかれましては、本校の発展に寄与するための教育振興助成につきまして、平素よりご理解とご支援を賜りまして厚くお礼申し上げます。

昨年度におきましては、With コロナであることを念頭におき対策を十二分に施した上で、本校学生一人一人がさらに充実した学校生活を送ることが出来ますよう頑張っておりました。学生達が積極的に参加してくれたお陰で、多くの行事を無事終えることができ教職員一同ホッとしております。特に、入学・卒業式におきまして学生達によります司会進行、ライブ配信などを手伝ってくれたこと、また商船祭におきまして学生たちが自ら計画・実施し楽しんでいただけたことなど、大きく成長した学生達の姿を会員の皆様方に直接見ていただくことができ本当に嬉しく思っております。

さて、本報告書は各担当主事教員から昨年度本校で実施しました学生教育・学生支援・学寮生活・広報活動について、さらに進路指導教員から各学科における進路指導の概要並びにその取組について記載しております。本報告書をお読みいただきまして、本校の現状をご理解いただければ幸いです。また、記載内容につきましてご質問などがお有りの場合には遠慮なくお申し出下さい。

本年度は5月の連休明けよりコロナウィルス感染に対する取扱いが簡易になることから、会員の皆様方に参加いただきまして総会を開催できますことは教職員一同にとりまして誠にうれしい限りでございます。最後になりましたが、学生達一人一人が有意義で実りある学生生活を送れるよう、教職員一同頑張ってお参る所存でございますので、今後とも今まで同様にご協力賜りますようお願い申し上げます。

学生教育

教務主事 大山 博史

1. 主な取り組み

- (1) 新型コロナウイルス感染症対応：令和3年度4月末には新型コロナウイルス用の3回目の集団接種をする時間を大崎上島町に設けていただきました。またワクチン接種会場までの往復に必要な、借り上げのバスを利用するための費用は大崎上島町からいただいたコロナ対策助成金を使わせていただきました。8月には夏休み前の授業をオンラインにいたしました。また2,3年生については前期末試験を夏休み明け9月に、始業を一週早めて実施いたしました。11月中に実施予定であった後期中間試験は欠席者多数の為実施できず、実施可能な科目は科目毎に試験を実施し、欠席者についても追試を実施いたしました。
- (2) 高専間単位互換制度：コロナウイルス対策のために、オンライン授業等を実施してきましたが、このオンライン授業の有効な活用の仕方として、他の高専の授業をオンラインで受講し単位をもらう試みが高専機構全体で始まりました。4月からは本校では4科目が開講し、それぞれ他の高専から本校の授業を受講しています。また10月からは本校の学生が他の高専の授業を数人ではありますが、受講し始めました。学習意欲のある学生に道を開く機会であると考えています。
- (3) 単位追認：コロナ禍のため様々な教育が制限されてきましたが不認定となった科目を持っている学生に、再度勉強する機会を設け、単位を追認するための期間を数年ぶりに2月に実施することができました。学生にとっては厳しいものですが、昨年度から可能な限り教育を推進したいという思いで実施いたしました。
- (4) 高専教育の質保証：高専機構が設定した重点6項目に基づき、「学生が自ら成長できる環境の整備および教育の実践」に取り組んでいます。オリエンテーションなどを通じてリーダーシップやコミュニケーション能力を身に付け、学年の垣根を越えて助け合う力を持てる教育を実施しています。またこれらの能力を客観的に数値化するテストも開始いたしました。

2. 学校の現状

- (1) 留年と退学：図1に、ここ10年間の留年率と退学率の推移を示します。令和4年度は、前年度に比べ留年率が上がっています。オンライン授業が数年続き、理解が進まないまま本年度を迎えた影響があると考えています。オンライン、対面のどちらの授業であっても自ら進んで学習し、変化に対応できる学生を育てることが学校に要求される結果となりました。図2には今年度の学科・学年別の退学者を示します。10名退学し専攻科生も2名退学しました。3年生の退学者が多くなっていますが、こちらも環境の変化に力強く対応できる学生を育てることの必要性を感じました。
- (2) ご協力をお願い：学校としましては、授業の改善はもちろんのこと、担任・学生指導関係・学寮・学生相談室等とさらなる連携をとりながら学生支援を行ってまいりますので、保護者の皆様におかれましても引き続きご協力の程よろしく申し上げます。

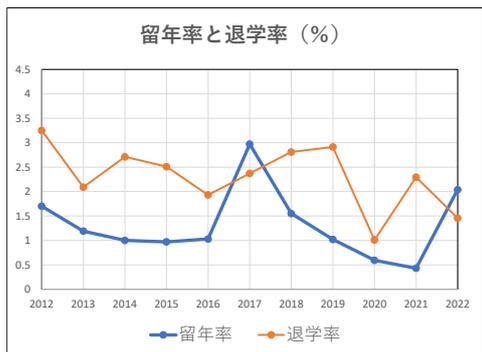


図1 留年率と退学率の推移

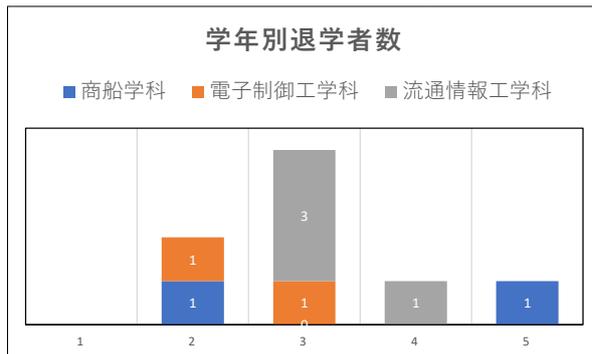


図2 退学者数

学生支援

学生主事 大和田 寛

昨年度も引き続き新型コロナウイルス感染症対策が求められる状況下ではありましたが、本学では、人間性の向上を目標に、学生支援・指導に関する新しい取り組みを導入しております。これは、高専全体の取り組みとしての「教育の質保証重点6項目」の一つ「ピアポーター育成」、また今年度、本校に新しく取り入れられた標語にもある「人間力の向上」の実現を目指すものです。

本学の取り組みの例として、昨年度からピアサポーター制度を導入いたしました。これは上級生1名に数名の新入生を割りあてて、1年間を通して普段の勉強や試験対策、寮生活・クラブ活動等の相談およびサポートをしてもらう制度です。4月にはこの制度のキックオフイベントとして、新入生オリエンテーションに上級生も一緒に参加し、新入生のサポートをしてもらいました。参加した上級生は、学生会のメンバーや各クラブの部長や代表者35名で、2泊3日のオリエンテーションの期間中、上級生・新入生が同じ班として行動しました。オリエンテーションの間、各種イベント等を実施して新入生と上級生の親睦を深めるとともに、新入生が安心して学校生活・寮生活がスタートできるように、先輩としてのアドバイスや相談会を実施しました。

これらの取り組みの結果、新入生からは、「優しい先輩が多くて安心した」、「学校生活や寮生活の様子がよく分かった」、「上級生になったら自分も新入生をサポートしたい」、また上級生からは、「新鮮な体験ができて色々勉強になった」、「人としても成長できたと思う」等のアンケート結果が得られました。なお、この取り組みは、他高専に先駆けて実施しており、人間力を兼ね備えた技術者育成の取り組みとして、他高専へ波及効果を及ぼしつつあります。

また、人間力向上の観点からも、クラブ活動や課外活動は可能な限り通常状態の活動を目指し、さらに商船祭も3年ぶりに通常開催といたしました。商船祭では一昨年度より豪勢な花火大会も併せて実施し、数多くのご来場者を頂きました。卒業生が久しぶりに学校に来て、卒業後の近況を直接聞けたことは教員としても大変嬉しいこととございました。

今年度も奨学後援会をはじめ皆様のご支援を頂きながら、教養基礎・専門知識の習得に加えて、これら人間力向上を目指し、様々な施策に取り組んでまいりますので、今後とも皆様のご協力を何卒宜しくお願い致します。

就学支援・入学金や授業料の免除、各種奨学金制度について

1年生から3年生までの学生に関しては就学支援金制度により、また4年生以上の学生には高等教育の修学支援新制度により、授業料の支援を行っています。令和4年度は、50名が授業料免除制度の対象となりました。

その他、入学金や授業料等の免除、各種奨学金の案内や手続き等については、ホームページや電子掲示板で案内しておりますので、申請する場合は、学生係で必要な書類等を受け取り、期限内の提出をお願いいたします（学生係：0846-67-3023）。

学寮生活

寮務主事 内山 憲子

1. 寮生数と再入寮制度について

○寮生数

今年度の若潮寮は、1年生107名（男子82名、女子21名）、留学生・編入生4名（男子3名、女子1名）の新入寮生を迎え、総勢424名でスタート致しました。

○再入寮制度

近年、新入寮生は100名を超えており、入学者の約8割が寮生となっています。本校の学生寮の入寮期限は3年間であり、4年次からは1年間を限度とした再入寮許可制となっています。そのため、4年進級時と5年進級時に再入寮手続きが必要となりますが、必要となる新入生の居室数から判断して寮の総収容人数の超過が予想される場合は、生活態度が乱れている場合や公共交通機関を利用した通学が可能な場合等には再入寮を許可しないことがあります。ご承知おきくださいませ。

寮生数（令和4年4月）			
学年	男子	女子	合計
1年	82	21	103
2年	71	15	86
3年	69	25	94
4年	64	17	81
5年	49	11	60
合計	335	89	424

2. 寮の現状

○寮経費の改定

世界的な原油価格の高騰や円安に伴い、寮生が使用する光熱費も高騰しており、前期まで徴収させて頂いている寮経費での寮運営が困難になってきたことで、10月～2月分として25,000円を30,000円に改定させて頂きました。また、令和4年度からは4月～8月分として30,000円から37,500円に改定させていただくことになっております。保護者の方には大変なご負担をおかけすることになりますが、どうぞよろしくお願い致します。

○外泊届電子化システム

今までの紙ベースでの外泊届の申請ですが、学生や教員から電子化の要望を長年受けておりました。今年度後期から本校の教職員の協力を得て、電子化での運用を行っています。これにより、寮生は利便性の向上、当直教員は外泊確認の軽減、職員は業務の削減に繋げることができています。

外泊から帰寮した際には、帰寮確認も併せた外泊カードの提出をしてもらっており、提出された外泊カードは保護者の方に郵送させて頂いております。

○寮生保護者会設立

10月に寮生保護者会を設立致しました。今までは個別に保護者からの意見を頂くことがありましたが、保護者全体から意見をもらう機会が無かったため、保護者会を立ち上げることで保護者からの意見を反映しながらより良い寮運営に繋げていくことや、これまで以上に保護者との連携を強固にして寮生の見守りをしていきたいと考えています。

○新型コロナウイルス感染防止対応

今年度になっても新型コロナウイルス感染症は収束する兆しは遠く、残念ながら本校においても多くの感染者が確認されることになりました。

新型コロナウイルス感染症対策は国や地方自治体においても刻々と変化しておりますが、多くの寮生を抱える寮内では、昨年度より引き続き感染防止対応として、点呼方法の変更、共用スペース（食堂・浴室・補食談話室）での利用制限、マスクの着用の徹底、手洗い・うがいの励行、換気や手指消毒の励行などを実施しております。

コロナ禍が長期間化していますので、寮生には集団生活であることを理解してもらった上で、制限のある生活をお願いしているところです。今後も、コロナ禍でも学校生活や部活動に生き生きと臨めるように、集団生活の中で責任ある行動がとれるように、寮生活で成長できるように寮務主事室全員で後押ししていく所存です。今後ともご協力お願いいたします。

広報活動

広報主事 平井 剛和

1. 令和4年度の主な取組

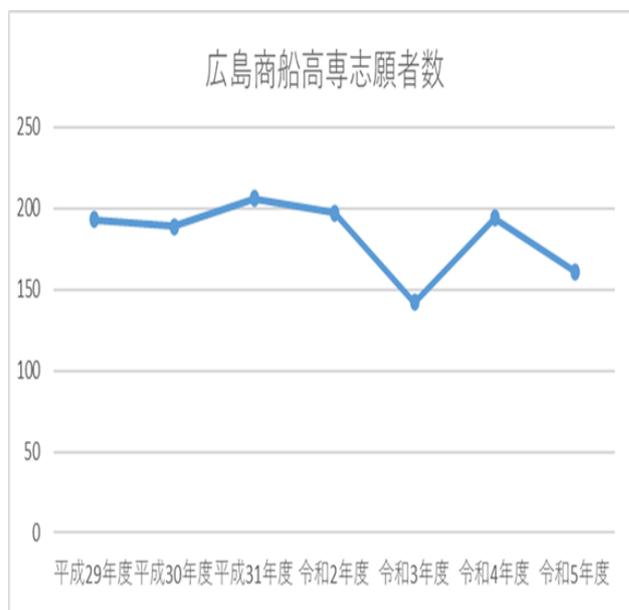
例年実施している活動は以下のとおりです。新型コロナウイルス感染症のため一部活動が制限・中止となった事例がありましたが概ね実施できました。

- ・ 4月 大崎上島中学校の研修
- ・ 5月 進学説明会（広島市）を実施
- ・ 6月 進学説明会（福山市）を実施
商船系高専5校合同進学ガイダンス（神戸） → オンラインに変更
国公立高専合同説明会（東京）
- ・ 7月 進学説明会（広島市）を実施
- ・ 8月 商船系高専5校合同進学ガイダンス（横浜） → オンラインに変更
公開講座 オープンスクール（第1回目）を2日間実施
- ・ 9月 国公立高専合同説明会（大阪）
- ・ 10月 オープンスクール（第2回）を2日間実施
ノーベル学習館進学説明会にオンラインで参加
- ・ その他 県内中学校からの要望による出前授業，進路説明，個別説明会
進路説明会 21校，出前授業 31校，個別説明会 3件
県内の中学校を訪問（主事・特命教授・有志教員）

2. 入学生の状況，情報の共有

今年の本校を第一希望もしくは専願者数は161名となり前年度に比べ約30名程度減少しました。これは昨年度に志願者が大きく増加し、合格ラインが上がったこともあり、その反動で志願者が減少したと考えられます。令和5年度の入試では、電子制御工学科と流通情報工学科の県外からの志願者が増加しました。また、昨年度に引き続き女子願者数も高水準となりました。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類感染症」へ変更されたことに伴い広報活動も正常化してきますので、学生主体の広報活動，学生による学校紹介や女子学生の活躍等を発信できるようにしたいと考えています。



3. 今年度の取組

- (1) 中学校（中学校教諭）との連携強化
- (2) 教育コーディネータの配置(2人)
- (3) 本校主催の進学ガイダンスを広島・福山で開催予定（5月・6月）
- (4) 本校でのオープンスクール（8月と10月に開催）

進路指導 一商船学科一

商船学科 就職担当 河村 義顕、茶園 敏文

1. 進路概要

図1に商船学科の過去5年間（平成30年度～令和4年度）の進路状況を示します。全体の傾向として、航海コース・機関コースともに平均すると約7割が海上職，約1.5割が陸上職，残り1割が進学といった状況です。

令和5年9月に卒業予定学生の進路状況（内定状況）を表1に示します。令和4年度5年生は，約74%の学生が船員としての海上就職予定となりました。そのうち，外航船員として内定が7名，内航船員として内定が21名（合計28名内定）となっています。

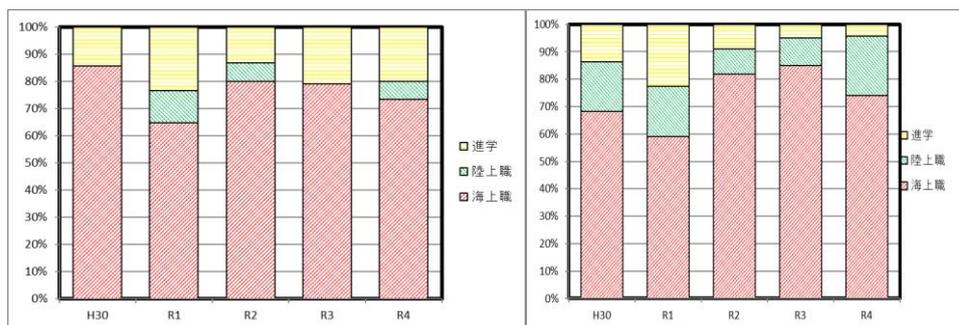


図1 過去5年間の進路状況（左：航海コース，右：機関コース）

表1 令和5年9月卒業予定学生の進路状況

航海コース（15名）	海上：11名	陸上：1名	進学：3名
機関コース（23名）	海上：17名	陸上：5名	進学：1名
商船学科（38名）	海上：74%	陸上：16%	進学：10%

2. 求人・求職の傾向

近年の求人は，外航船社ではもちろんですが内航船社においても2級海技士の筆記試験合格を入社条件としている会社も多いため，よりレベルの高い資質が求められています。

海上職・陸上職ともに，就職に際しては基礎基本の知識を有していることは当然のことながら，社会人としての責任感・協調性・社会性などのコミュニケーション能力が強く求められる傾向にあります。

海上職を目指す学生の場合，外航を志望する学生は毎年一定数いますが，数ヶ月から数週間の短期航海の内航船員を希望する学生もいます。

3. 進路指導

(1) 低学年に対して：学科長や就職担当者がホームルームの時間を利用して，就職や進学を含めた進路についての指導を行っています。不定期ではありますが，造船所見学や本校練習船の寄港地での港湾施設見学等も取り組んでいます。卒業生の講演等の機会を設定して海事関連の仕事に対する理解を深める取り組みも行っています。

(2) 高学年に対して：商船学科では担任と就職担当を中心に，本人の希望・適性・成績等を踏まえ，希望調査・個人面談等を行いながら進路を決定しています。

また，4年生でインターンシップを推進しています。

進路指導－電子制御工学科－

電子制御工学科 就職担当 成清 勝博

1. 進路の概況

令和4年度の求人状況は、求人企業数が500社以上であり、新型コロナの影響はほとんどなく非常に恵まれた状況でした。卒業生39名のうち8名が進学し、31名が就職しました。就職先の職種としては、エンジニアとして機械、電気、情報、制御等の専門的な技術の仕事に携わります。

2. 進路状況

(1) 就職

卒業生の就職先の業種は48%が製造業で、19%が電気・ガス・熱供給・水道業です。また、19%がサービス業、6%が建設業です。今年度は、25%の卒業生が県内の企業に就職し、中四国地区の企業に就職する学生を含めると32%の学生が中四国地区で活躍します。例年より地元志向が弱くなっています。下表に卒業生の進路先を示しています。

(2) 進学

進学の割合は20%です。

大学への進学者は6名、本校専攻科への進学者は2名です。

例年より進学者の割合が高くなっています。また、東京大学を始め進学先が多岐にわたっています。

令和4年度卒業生の進路先(電子制御工学科)(R5.3.31現在)

	内定進路先	人数	内定進路先	人数
就職	日本プロセス(株)	1	国際ケーブル・シップ(株)	1
	(株)名南製作所	1	三菱電機プラントエンジニアリング(株)	1
	(株)イシダ	1	(株)中電工	1
	(株)日立アドバンスシステムズ	1	中国電力ネットワーク(株)	3
	(株)タマディック	1	日本オーチス・エレベーター(株)	1
	(株)岡山村田製作所	2	NOK(株)	1
	(株)ユノス	1	矢崎総業(株)	1
	メタウォーター(株)	2	スタンレー電気(株)	1
	三菱電機ビルソリューションズ(株)	1	(株)マツダ E&T	1
	日立建機日本(株)	1	ダイキン工業(株)	2
	富士フイルムメディカル(株)	1	JFE スチール(株)西日本製鉄所	1
	東京電力ホールディングス(株)	1	(株)ダイコーテクノ	2
	村田機械(株)	1	筑波大学 数理物質系技術職員	1
進学	島根大学	1	東京理科大学	1
	豊橋技術科学大学	2	東京大学	1
	宮崎大学	1	広島商船高等専門学校専攻科	2

進路指導—流通情報工学科—

流通情報工学科 進路指導担当 加藤 博明

1. 進路指導（学科の取り組み）

5年学級担任が進路指導を担当し、学科全体で連携を取りながら指導にあたっています。就業意識を高める試みとして、①低学年時からの就職講義の導入、②4年生全員のインターンシップ参加、③OB・OGによる講演会、④職業適性試験・基礎能力試験の実施などの多岐に渡る就職支援プログラムを実施しています。また、公務員志望者の学生を応援し受験を突破する実力をつけるため、公務員講座を開催しています。コロナ禍で現地参加型のインターンシップなどは困難な状況もありましたが、オンラインでの業界研究セミナーなどを実施しました。

2. 進路の概況

令和4年度の卒業生は41名（男子23名、女子18名）です。このうち、就職希望者は34名、進学希望者は7名となっています。就職先企業の業種の内訳については、情報通信業が41%、物流業が26%、製造業が18%、その他 サービス業などが続きます（図1）。今年度は、関東地方が38%、関西地方が21%、そして、29%の卒業生が広島県を含む中国地方の企業に就職しています（図2）。関東地方に行く卒業生は情報通信業が多い傾向にはありますが、最初の数年の研修後には広島を中心として中国地方に配属されるケースも多いようです。表1に卒業生の進路一覧を示しています。

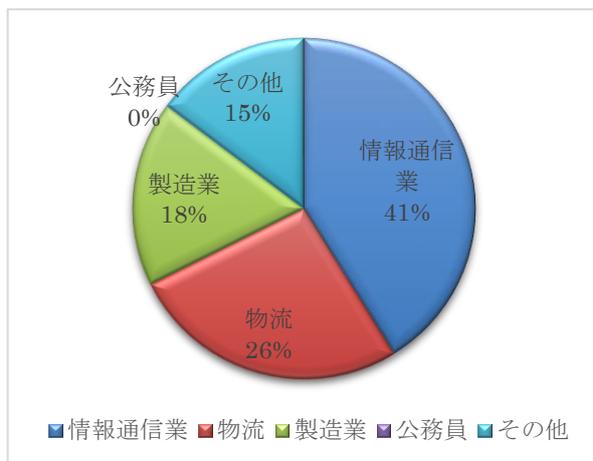


図1 業種別就職先

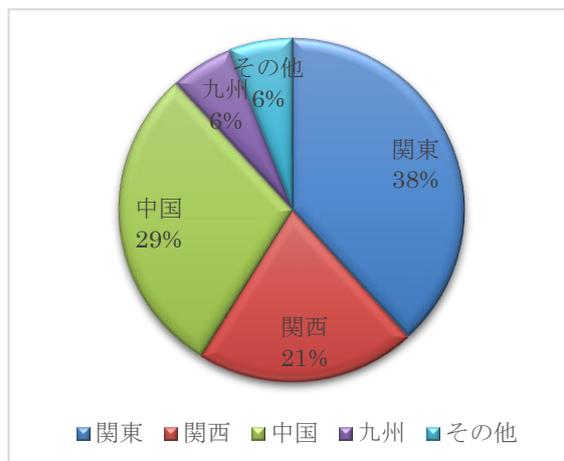


図2 地域別就職先

表1 進路一覧

就職	情報	(株)アイ・エス・ビー, NEC フィールドエンジニアリング(株), NTT コムエンジニアリング(株), CTC テクノロジー(株), コベルコソフトサービス(株), (株)トヨタシステムズ, (株)FIXER, (株)ビーネックスソリューションズ, 富士通(株), (株)富士通エフサス, リコージャパン(株), (株)ヴィンクス
	物流	NRS(株), 花王ロジスティクス(株), 川崎陸送(株), ゲイソー・ロジスティクス(株), ケイヒン(株), 山九(株), (株)日立物流西日本
	その他	旭化成(株), ダイキン MR エンジニアリング(株), (株)ディスコ, パナソニックオペレーショナルエクセレンス(株), (株)日立ハイテク, (株)エイジェック, (株)TBS アクト, フレックス(株), (株)USEN-NEXT ホールディングス
進学	広島大学, 長岡技術科学大学, 明星大学, 武蔵野調理師専門学校, 穴吹デザイン専門学校, 広島商船高専専攻科	